

〈地域経済・産業論〉

問 次の3つの設問に答えなさい。

設問1 下記の用語の中から、2つの用語を選んで、1つめの用語を①の解答欄に、2つめの用語を②の解答欄に、それぞれ解答欄の大きさの範囲でその意味を説明しなさい。(各5点;合計10点)

6次産業化、コミュニティ再生、地域ブランド、産業振興、全国総合開発計画

出題意図：

地域経済・産業論における基礎的な用語についての理解力を見るとともに、経済的背景などをふまえて記述できる力を確認する。

解答例：

【6次産業化】

農林水産業など第一次産業の従事者が、第二次産業に属する製造業や、販売を行う第三次産業と連携もしくは自らが原材料の生産、加工、販売までを行い、農林水産業にかかわる生産物に付加価値を加えて、所得の向上や雇用の創出を目指す取り組み。

【コミュニティ再生】

人口減少や過疎化、少子高齢化、住民同士のつながりの希薄化などを背景に、それまで可能であった様々な機能が低下しているコミュニティに対して、地域住民や行政をはじめ、NPOや民間企業など地域内外の主体の参画により、持続可能な地域社会の再構築を目指す取り組み。

【地域ブランド】

地域資源や地域特性をふまえて、その地域独自の商品やサービスを開発し、地域のイメージと結びつけることで、他の地域との差別化を図るとともに、その地域の認知度を向上させること。これにより商品やサービスの販売が地域経済の活性化を目指した取り組みとなる。

【産業振興】

地域の基盤となっている産業について、抱えている様々な課題の解決に向けた取り組みを行うことで基盤産業の強化を図ること。企業立地の促進や中小企業の支援、新産業の創出を行うことで、地域経済の成長、発展や雇用機会の拡大を目指す。

【全国総合開発計画】

地域間格差の是正や国土の有効利用、保全に関する国家レベルでの計画であり、日本の社会資本整備の方向性を示すとともに、時代ごとの社会経済的な背景をふまえて、安定的な経済成長と国民生活の向上を目指す地域政策。

設問 2 設問 1 で選択した用語 2 つをキーワードとして地方の経済・産業が抱える課題とその解決策について論じなさい。(30 点)

出題意図：(60 字前後で)

選択した用語の意味を理解した上で、その組み合わせをふまえて、地方が抱える課題の背景を分析し、それに対する解決策についての提案を通じて、論理的な思考力や表現力を確認する。

解答例：省略

設問 3 あなたが考える「地域協働」について、その定義とそのように定義をする理由について、解答欄の大きさの範囲で簡潔に説明しなさい。(10 点)

出題意図：

地域協働についての本質的な理解力を見るとともに、社会的背景や実践経験などをふまえて、その概念について論理的に表現できる力を確認する。

解答例：省略

〈地域社会学〉

問 次の2つの設問に答えなさい。

設問1 以下の6つの用語の内から4つを選択し、その意味を説明してください。解答用紙には、選択した用語の番号と用語を記入しておくこと。(各5点、計20点)

- (1) コミュニティ意識
- (2) 限界集落
- (3) 関係人口
- (4) ソーシャル・キャピタル
- (5) 実践コミュニティ
- (6) サードプレイス

出題意図：(60字前後で)

地域社会学における基礎的な概念についての理解力と、それらの概念について社会的背景や具体例を交えて記述できる力を確認する。

解答例：(各々の用語それぞれに120字前後で)

- (1) コミュニティ意識
コミュニティ意識とは、特定の地域や集団に対する心理的な帰属感、一体感、および相互信頼の感覚を指す。この意識が高い人々は、地域社会への参加意欲や共同行動への関与が高まる傾向にあるとされる。コミュニティ意識は、地域社会における人間関係の質や社会的結びつきを評価するうえで重要な概念となる。
- (2) 限界集落
限界集落とは、住民の過半数が65歳以上となり、日常生活や共同作業、冠婚葬祭などの社会的共同機能の維持が困難になる状態を指す。過疎化と少子高齢化が同時に進行する中山間地域に顕著にみられ、社会的孤立や生活基盤の脆弱化などの課題を生み出している。
- (3) 関係人口
関係人口とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉として理解される。観光や一時的交流にとどまらず、仕事・ボランティアなど多様な形で関係を築く、新しい地域との関係性のモデルとして注目されている。

(4) ソーシャル・キャピタル

ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）とは、信頼、ネットワーク、相互性の規範を要素とし、人々の協調活動を活発にし、社会の効率性を高めることができる社会組織の特徴と理解され、物的資本や人的資本と並ぶ新しい概念として注目されている。

(5) 実践コミュニティ

実践コミュニティとは、共通の関心や実践的課題に取り組む人々が、知識や経験を共有しながら学び合う集団を指す。参加者は実践を通して専門性やアイデンティティを構築し、継続的な関与の中で集団の知が深化していくことになり、知識創造や人材育成の基盤として注目されている。

(6) サードプレイス

サードプレイスとは、自宅（第一の場）や職場・学校（第二の場）とは異なる、自由で開かれた交流の場を指す。人々がリラックスしながら会話やつながりを育む空間として認識され、カフェや図書館、公園などが該当し、地域再生や居場所づくりの観点からも重要視されている。

設題2 地域社会が抱える課題について、根拠を示してその現状と課題を説明したうえで、持続可能な地域づくりに向けて、どのような研究デザインが有効だと考えるか、その理由を含め、具体的に示してください。(30点)

出題意図：(60字前後で)

地域社会が抱える課題について根拠に基づいて理解する力と課題に応じた適切な研究アプローチを構想する力を確認する。

解答例：省略